

議会だより

つるい

鶴居・幌呂保育園合同の餅つき会



4月は議会議員選挙です

鶴居村民3ヵ月以上で満25歳以上は立候補できます
女性や若者の登場にも期待！

TOPICS

- 12月定例会 補正予算の中身は？・・・P2
- 8議員が村政を問う！一般質問・・・P5
- 議員定数と議員報酬は？・・・P14
- 道外行政視察・・・P16



定例会 主な内容

12月定例会のあらまし

第4回定例会は12月12日に開会し、13日に閉会しました。

村長からの提出議案は13件で、内訳は専決処分1件、条例案件3件、補正予算5件、その他4件です。

議員発議は条例案件2件です。

すべての議案が原案通り可決されました。

一般質問では8議員が14項目の質問をし、村政を問いただしました。

○ 地域交流施設の コンセプトデザイン

183万円

新規

村民の交流を活性化し、にぎわいと活力あふれる地域を形成する地域交流施設（仮称）のコンセプトデザインを委託作成します。



期待される地域交流施設予定地

○ ベトナムとの観光推進のため視察へ

新規

59万円



ベトナムとの交流強化へ

ベトナムとの観光を推進強化するため、ベトナム最大級の来場者数を誇る交流イベント「ジャパンベトナムフェスティバル」への参加と、現地の旅行会社を訪問する2人分の経費です。



にぎわいと活力あふれる 「地域交流施設」

平成30年度各会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計（第4号）	281万9千円	49億8118万1千円	全員賛成により可決
一般会計（第5号）	5189万9千円	50億3308万0千円	全員賛成により可決
水道特別会計	0円	4263万4千円	全員賛成により可決
国民健康保険特別会計	27万0千円	3億6766万6千円	全員賛成により可決
介護保険特別会計	105万0千円	2億7095万8千円	全員賛成により可決
後期高齢者特別会計	15万0千円	3895万0千円	全員賛成により可決



図書室から「鶴居村図書館」へ

○条例の制定

ふるさと情報館の

図書室が図書館に

ふるさと情報館の図書

室が「鶴居村図書館」に

なります。

○指定管理者の指定

三つの施設の指定管理者を指定しました。

施設の名称：鶴居村ファームイン

指定管理者：鶴居村を楽しむ会

指定の期間：2019年4月1日から

2024年3月31日まで

施設の名称：鶴居どさんこ牧場

指定管理者：株式会社 鶴居村振興公社

指定の期間：2019年4月1日から

2024年3月31日まで



指定管理者制度って？

多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応するため、民間ノウハウを活用し、住民サービスの向上と経費の削減などを図ることを目的として、民間事業者なども公の施設の管理を行うことができるとした制度です。

施設の名称：鶴居村地域資源循環活用施設

指定管理者：鶴居村森林組合

指定の期間：2019年4月1日から

2024年3月31日まで



定例会 主な質問

聞いてみたいな こんなこと

▽図書室から図書館に変わるのとは



及川満浩議員

ふるさと情報館の図書室が図書館に変わるのとは。

▽教育長

道立図書館から2年間指導され、今回、図書館としての条件が整ったので条例化しました。

▽従業員住宅の補助金



吉田保博議員

従業員住宅への補助金が増額されているが、この制度の実績は。

▽建設課長

平成28年度に新築が3件、29年度は新築が2件、中古が1件、30年度は新築2件の予定で、合計8件となっています。

▽ベトナムへの視察



佐藤吉人議員

ベトナムを視察しますが、効果的な鶴居村のPRも期待します。

▽村長

この視察が、今後の鶴居村のインバウンド受け入れの活性化につながるように、しっかりPRしたいと考えています。

▽地域交流施設を計画する経緯は



大津泰則議員

地域交流施設を計画したのは。

▽企画財政課長

にぎわいのある村づくりを目指して、村民が気軽に集うことのできる施設を目指して計画しました。そのためには、この施設にテーマストーリー性が必要のため、コンセプトデザインを作成します。

▽地域交流施設の規模は



秋里広志議員

たくさんの村民に利用してもらうには広い土地が必要では。

▽企画財政課長

施設の規模はまだ決まっていませんが、計画作業を進める中で、駐車スペースなども含め適切に対処したいと考えています。

広域議会

釧路広域連合議会定例会

10月15日 釧路市

東 隆行

佐藤吉人

釧路公立大学

事務組合議会定例会

10月30日 釧路市

秋里広志

釧路地方林活議連協議会

11月12日 釧路市

吉田保博

全国過疎地域自立促進

連盟定期総会

11月15～16日 東京都

松井議長

町村議会議長会全国大会

11月19～21日 東京都

松井議長

北海道町村議会議員公務

災害補償等事務組合議

会・北海道町村議会議長

会理事會

11月26～27日 札幌市

松井議長

産業振興課長
一般狩猟への対応は考えていません。ルールやマナーの徹底を図りたいと考えています。



村民が利用しやすい交流施設に

▽エゾシカ残滓^{ざんし}ボックスの運用は



東 隆行議員

エゾシカ残滓ボックスは猟友会が有害駆除のときに利用しているが、それ以外の利用への対応は。

▽産業振興課長



**松井 洋和 議員**

P6

- ①高校生通学バス定期代と大学生などへの助成検討を
- ②おたふく風邪予防接種と大人の風疹予防接種を

東 隆行 議員

P7

- ①中幌呂下橋付近の中洲撤去を

秋里 広志 議員

P8

- ①風疹などの感染症対策は
- ②新たな保育所保育指針は

松井 広道 議員

P9

- ①下水道排水の格差は

吉田 保博 議員

P10

- ①鶴居村の農業振興対策を
- ②旧村営軌道の利活用促進は

及川 満浩 議員

P11

- ①災害に対する備えは
- ②今後の村の保育サービスは

佐藤 吉人 議員

P12

- ①村営住宅周辺の草刈りなどは
- ②北海道遺産登録旧鶴居軌道の今後の管理運営は
- ③道々53号線の市街地入り口に交通安全啓発看板設置を

大津 泰則 議員

P13

- ①高校生の通学バス運行費補助金の検討を

8人の議員が14項目の質問

村政のここが聞きたい

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって、執行機関（村長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。





まつい ひろかず
松井洋和 議員

高校生・大学生への助成を

村長 あらゆる角度から検討、今後の行政課題



高校生・大学生への新たな支援は

松井 高校生などへ業は、素晴らしい制度です。

しかし、高校通学費用は、近隣自治体と比べてまだ高く、現在または将来、高校生・大学生などを、特に2人以上抱える家庭では不安を感じているようです。

そこで、鶴居村独自の高校生・大学生への新たな助成などを検討する必要があるのではないのでしょうか。村長の考えを伺います。

村長 高校生などへは、平成26年度から生徒1人につき月額1万円を交付し、大学生などへは、奨学金など教育資金の利子に対して一部を補給しています。

確かに高校通学バスの定期券代は、近隣自治体と比較し、本村の方が2倍から4倍近くほど高くなり、複数のバス通学者がいる家庭には大きな負担であり、同時に大学生などを扶養する場合にはさらに負担が増すものと理解しています。

しかし高校生、大学生などに対する支援策を強化することは、各家庭の負担軽減と、少子化対策や地域社会で活躍する優秀な人材育成に貢献するものと理解しています

ふうしん 風疹流行で妊娠時のケアは

松井 おたふく風邪ワクチンの定期接種化が望まれています。

また、風疹が流行しているが、妊娠中には風疹ワクチンの接種が出来ないため、免疫がない人や弱い人には予防接種が必要で、そこで伺います。

- ① 小児へのおたふく風邪ワクチン接種費用の助成は。
- ② 風疹ワクチンが不足している現状と今後は。
- ③ 妊娠を希望する女性への風疹抗体検査費用と、ワクチン接種費用の助成は。

の効果と村の財政状況を十分に踏まえると、新たな助成制度の創設は容易でないと考えています。あらゆる角度から検討を重ね、今後の行政課題として受け止めたいと考えています。

村長 ① 副反応の危険性に対する

国の評価が確定していないため、慎重に判断したいと考えています。

- ② 小児への定期接種分のワクチンは確保されていますが、成人用の確保は難しい状況です。
- ③ 抗体検査は、北海道が独自に補助事業を実施しており、村では対象者に補助制度を紹介しています。また、接種費用の助成は、成人用ワクチンの確保が難しい状況にあり、国や北海道、管内自治体の動向を注視し、判断したいと考えています。



中幌呂下橋付近の中洲撤去を

村長 北海道に要請しているが困難な状況

東

近年、台風や爆弾低気圧などが数多く発生して雨量も多くなっています。

3月8日の大雨でも、この中幌呂下橋の上流で河川の氾濫が発生し、この付近50〜60ヘクタールが水に浸かってしまい、流木や砂利などが流れ込む状態になっています。

川の中洲が川幅の4分の1ほどに大きくなっており、これが氾濫の原因の一つと考えられます。河川の管理は村の所管ではないことは理解していますが、冠水などで農地にも影響が出ていますので、村の対応、考え方を伺います。

村長

幌呂川は、これまで農林水産省が所管する明渠排水事業や北海道の河川改修事業などによって整備され、今日の河川の状況が維持されています。

しかし、大雨や春先の融雪などによって上流部が洗掘され、その土砂の流入により河床が上がり、落差工もその機能を失う状況にあります。

今年3月の大雨による幌呂川の溢水では、中幌呂下地区の農地への土砂流入および河岸洗掘の被

害を受けており、河川管理者である釧路建設管理部に対し、中洲の除去や溢水防止対策、護岸の整備を要請しています。

しかし、溢水により被害があった農地周辺の河川区間は、幌呂幹線明渠として整備された土地改良財産であり、河川用地は農林水産省、河川自体は北海道の管理という、二重管理の状態になっており、北海道が災害対策工事を実施出来ない様々な行政側の事情が弊害として存在しています。

村としては、今後も農林水産省や北海道に対し、移管手続きの早期完了を要請し、移管後の速やかな溢水防止対策や護岸整備の実施に向けた情報提供を、引き続き行いたいと考えています。

※溢水とは、水があふれ出ることです。

あずま たかゆき 東 隆行 議員



中幌呂下橋付近の河川管理は

次回定例会は3月12日開会予定 4月は議会議員選挙です。ぜひ傍聴を！





あきさとひろし
秋里広志 議員

ふうしん 風疹流行への対策は

村長 適切に対応し万全を期したい

秋里

風疹が全国的に流行しています。

風疹は妊娠初期の妊婦が感染すると、赤ちゃんが障害をもって生まれてくる恐れがあるとか、30代から50代の男性は予防ワクチンの接種を行っていない可能性が高く、感染リスクが高いことなどの問題があります。そこで、ワクチン接種や感染などの状況と風疹への対応、住民への注意喚起などについて、村長の考えを伺います。



風疹が大流行するかも

村長

現在、村内での風疹感染患者は確認されていません。

国からは11月29日に、抗体保有率の低い「39歳から56歳の男性」に対し、重点的な感染予防対策を進めるとの報道がなされており、現状、風疹ワクチンが不足している状況ですが、今後、国からの通知があった場合には、適切に対応したいと考えています。

次に、村の感染症予防対策については、予防接

種法の定期接種や村独自に行う行政措置予防接種に基づき実施しており、麻疹・風疹混合ワクチン、水痘ワクチンは、ほぼ100%の接種率となっています。

また、感染症が発生した場合には住民に対し、IP告知放送による注意喚起や関係部署との連携、情報共有に努め、その対策に万全を期したいと考えています。

秋里

新たな「保育所保育指針」が平成30年度から適用されると聞きました。

現在進行中の、子ども子育て支援新施設は、新たな「保育所保育指針」に沿って計画されていると思いますが、どのようなところが改善されているのでしょうか。

また、施設などのハード面と、保育所の運営に関わるソフト面として、園児と保育士の関係、保育士の資質向上などについて、現状に比して、改善しなければならない点はないのか伺います。

新保育所保育指針でどう変わる

村長

新保育指針では、0歳から2歳児の保育の質を上げるための事項がより詳細に盛り込まれており、乳幼児の生活すべてが「学び」や「教育的側面」につながってがっていることに、今まで以上に保育士の意識を向けることが求められています。

また、保育所が「幼児教育施設」として位置付けられ、「幼児教育のあり方」が明確に示されており、今後は、「新学習指導要領」の完全実施を見据え、学校教育との連携を今まで以上に図りたいと考えています。



合併浄化槽との格差是正は

村長 慎重に判断したい

松井

平成26年第4
回定例会で、

集落排水と合併浄化槽の
格差について質問しまし
た。

「今後の料金体系も含
めて検討を行う」と答弁
がありました。その後
の検討結果や対策はどの
ようになつたのか伺いま
す。

村長

本村の下水道
は鶴居、幌呂、

上幌呂、下幌呂の4地域
を農業集落排水事業によ
り処理し、その他の地域
については合併処理浄
化槽で対応しています。

合わせた下水道普及率
は現在96.6%となつ
ています。

平成26年第4回定例会
では、「農業集落排水使
用料」は管内で最も安価
な料金設定となつてお
り、会計収支の均衡も欠
く状況から、今後、使用
料金体系も含めた検討を
行う必要があります」との答
弁をしています。

の現状の機能診断を実施
し、昨年その結果に基づ
く今後の施設更新を目的
とした施設最適整備構想
を策定し、現在さらに施
設の統合や廃止を検討す
る施設再編計画の策定を
行い、農業集落排水施設
の現状把握や設備更新な
どに要する費用の算出を
含めた長期的な経営見
通しの把握に努めていま
す。

今後、管路の老朽化に
よる更新や施設の維持
補修は必然的なものであ
り、使用料金の見直しは
避けては通れない行政課
題と考えますので、合併
浄化槽との負担格差の是
正も含め、慎重に判断し
たいと考えています。



まついひろみち
松井広道 議員



難しい合併浄化槽と農業集落排水の料金格差

表紙の写真



保育園の餅つき会

12月11日に鶴居保
育園で行われた、鶴
居保育園と幌呂保
育園合同の餅つき会
の写真です。

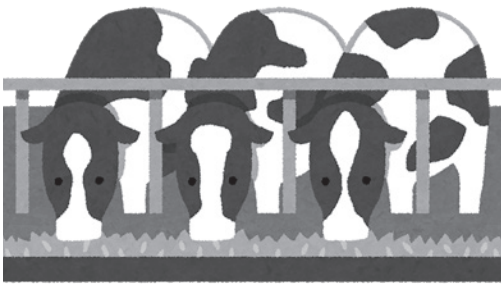
つきたてのお餅
を、きな粉餅、納豆
餅などにして、みん
なで美味しく食べて
いました。



よしだ やすひろ
吉田保博 議員

鶴居ならではの農業対策を

村長 効果的な生産体制の整備に向けて



鶴居に来たくなる農業政策を

吉田

本村の酪農は、平成17年の97

経営体が平成27年には75経営体に減少し、以降平成30年には69経営体になり、次年度以降に生産を停止する話もあります。

新規就農、新たな人材確保、育成など早急な対応が必要と思います。

また、離農跡地、未利用地、牧野の有効活用など、来るのを待つだけでなく、鶴居に来たくなる、鶴居ならではの体制を構築することが必要不可欠と思いますが、村長の見解を伺います。

村長

昨今の酪農情勢は比較的安定

定期にあり、畜産クラスター事業などの積極的な活用によって、経営環境が大きく改善されている現状にあります。

しかし、担い手・後継者対策については、離農や農業従事者の高齢化などが進む状況にあり、その具体的対策が急務だと考えています。

村としても、今後さらに、経営の大規模化に対する支援をはじめ、小規模農家など持続的な家族経営の支援や、農業生産

基盤の充実や効果的な生産体制の整備に向けて取り組んでいきます。

また、新たな農業分野については、他の地域でも色々な取り組みが展開されており、人口減少対

策や地域経済の活性化の観点からも、新たな産業としての創出が求められています。今後、意欲ある民間企業の誘致活動や、様々な情報収集に努めたいと考えています。

北海道遺産に選定された旧簡易軌道の効果的な活用を

吉田

旧鶴居簡易軌道が「北海道遺産」に認定を受けたことにより、マニアや観光客の来村が多くなる事を期待していますが、効果的な活用について教育長の見解を伺います。

村づくりを担っていく諸々の活動などを通じて多様な人々と共有していくことで、新たな価値を創造して行くことにもつながっていくと考えています。

教育長

本村が申請している旧鶴居簡易軌道が北海道遺産として選定されました。

このことは、鶴居村によって所有・管理している文化遺産を、観光や教育の分野にとどまらず、

今後、村内全体に点在している遺産を総合的に、有機的に、多面的につなぐことにより、鶴居村のかけがえのない財産であり、貴重な四季を通じた美しい自然の保全と共生を推進し、新たな地域資源としての活用を図っていきます。



ブラックアウトへの対応は

村長 電力供給体制の万全化を求め

及川

9月6日に発生した地震と大規模停電で、北海道は様々な面で大きな影響を受けました。

こうした中で酪農家の大きな懸念として、停電時の対策と営農用水の確保への備えの重要性が再認識されたところです。同時に、住民生活、特に高齢者などの安全確保への備えも重要となりました。

村の今後の対応と北電の電力供給への対応のあり方について、村長の見解を伺います。

村長

本村でも、ブラックアウトの影響により、乳用牛の疾病発生や生乳の廃棄、さらに村内観光客なども減少するなど、村民の日常生活や産業活動に大き

な影響が発生しました。酪農経営の停電対策としては、平成28年に非常用発電機の導入補助制度を創設しています。また、営農用水の対応としては、非常用発電機を配水施設に運んで接続をし、給水確保に努めました。

さらに災害には、日頃からの備えが何より重要なので、普及が進んでいるスマートフォンに対しても防災情報の提供を予定しています。

また、今後、防災ハザードマップを作成し、村内全戸に配布するほか、IP

告知放送や広報誌などにより定期的に防災に関する情報を発信したいと考えています。特に支援を必要とする高齢者などに対しては、名簿を作成して状況を把握しているところです。

改めて、エネルギー政策に責任を有する国と北海道電力での原因分析や再発防止策の検討などがなされ、このような事態を再び招かないよう、村としても供給体制の万全化を求めていきます。

保育サービスと無料化は

及川

国が来年度から導入しようとしている保育無料化と今後の保育について、住民の意向確認の必要性和保育サービスの内容の具体提示の必要性を感じますが、村の対応について伺います。

来年度、第2期「鶴居村子ども・子育て支援事業計画」の策定でニーズ調査を行うので、調査結果を、今後の保育サービスの更なる充実のために生かしたいと考えています。

村長

「保育料無料化」については、10月に予定される消費税の引き上げによる財源を活用し、国が制度設計を行っています。

現時点では、国、北海道から無料化に関する具体的な通知などがなく、

また、例年実施している「体験入園」や「保護者懇談会」などで、引き続き、保護者からの保育ニーズを的確に把握し、より良い保育環境の充実に努めたいと考えています。



おいかわみちひろ 及川満浩 議員



大規模停電への備えを



さとうよしひと
佐藤吉人 議員

村営住宅周辺の草刈りは

村長 不均衡にならないよう慎重に対応



観光資源としても鶴居軌道自走客車を

佐藤

個々の家であれば自らが草刈りをしたり、除雪を業者さんに依頼して作業をしてもらいますが、共同住宅には高齢者も多く、自分の住居部分で、いったいどこに作業を頼んだらよいのか。

また、「村の住宅だから外構管理は村がやるべきこと」との考え方の人もいます。
入居規定も含めて村長の見解を伺います。

村長

村有住宅の入居者には「入居者のしおり」を配布し、さらに口頭で説明を行い、趣旨を十分理解されたいと考えています。

また、近隣の支え合いや助け合いに、行政が加わりサポートする「自助、共助、公助」の精神を理し実践していくことが最も大切であり、個人住宅と村営住宅とで不均衡が生じないように、慎重に対応しなければならぬと考えています。

市街地に交通安全啓発看板を

佐藤

道々53号線の鶴居市街地は

両方向からの下り線ですし、鶴小や鶴中の横断歩道に歩行用信号機が設置されていますが、もしこの信号機を運転手が見落としていたら、重大な事故が発生します。
そこで鶴居市街に入る前に前方注意とスピードダウンの啓発看板を設置検討できないか伺います。

村長

鶴居市街出入り口付近の啓発

看板の設置については、釧路側からも弟子屈側からも、市街地に入るまでに十分な直線距離が確保されていることから、交通上の安全は一定程度確保できているものと判断しています。
当該箇所に啓発看板の設置は当面必要ないものと考えています。

北海道遺産に登録された

旧簡易軌道の管理運営は

佐藤

旧鶴居軌道は11月1日に65

番目の北海道遺産に新規登録されました。
現在は文化遺産として教育委員会で管理運営を行っています。観光資源としての活用について見解を伺います。

教育長

歴史的な遺産を貴

重な文化遺産として保存し、活用していくことが求められており、教育委員会を中心にして所有・管理し、持続可能な遺産の保全・継承、地域の持続性や更なる発展を図っていきます。



高校通学バスへの助成を

村長 必要な支援策を講ずることは大切

大津

平成28年度の
通学バス運行

費補助金は、前年度比約200万円増の予算が出され、この原因については「北斗橋から乗る（生徒通学マイパ）バスを利用している生徒が増えたことや、高校生が減少したことが要因となっている」との答弁がありました。

30年度も同様の予算計上がなされています。



おおつやすのり
大津泰則 議員

① 現在の生徒通学定期マイパを利用して生徒の割合と今後の見通しについて。

② 全員が鶴居から通学バスを利用すると、平成27年の水準を保つことができるのでしょうか。

また、平成28年度から増えた運行補助金を、運行会社に支払うのではなく、定期券支援策として一定程度の利用はできないのでしょうか。

③ 高校に進学すると1か月2名分だと6万数千円かかり、家計に大きな負担がかかりますし、「北斗橋」までの送迎など保護者の負担の軽減も図れますので、新しい支援策を検討していただきたいと思いますが考えを伺います。

村長

① 高等学校等
通学バス運行

費補助金については、釧路市内の高校までの通学手段を確保するため、運行経費の赤字分を補っているものです。

平成28年度当初予算額が、27年度の約1.9倍と大きく増加したその主な要因は、北斗橋から乗車する生徒が増えたほか、高校生が2割減少したことに伴い、通学バス乗車人数も減少して定期券などの売上収入が落ち込んだ

ことが大きく影響したと考えています。

「通学マイパ」については、3か月で2万3千円程と安価になっており、「北斗橋」のバス停留所から通学マイパの利用が可能となり保護者などによる送迎が行われていますが、今後、極端に増えることはないものと考えます。

② 毎年の補助金交付額は、定期券売上収入と車内売上収入の影響を大きく受けるものであり、そ

の他運行に係る必要経費をもとに算出しています。

今後、高校生や乗車人数の減少が予想されるため、平成27年度予算の220万円を保つことは難しいと考えています。

また、27年度の水準を保ちながら、200万円ほどの差を定期代に振り分けられるのであれば、大変良いことだと思えますが、乗車人数が増えることが前提となります。公共交通の今後の在り方を検討しつつ、総合的に検討したいと考えています。

③ 本村にとって、子育て支援は重要な行政施策として取り組んでいるところであり、通学バスの運行の維持と確保に努めながら、高校生の通学に対する利便性を高め、必要な支援策を講じることが大切なことであると捉えています。



高校通学バスへの新たな支援は

特別
委員会議員定数は？
議員報酬は？

議員定数・議員報酬は現状維持

平成30年3月14日の第1回定例会で「議員定数及び報酬等検討特別委員会」を設置し、これまで4回の委員会を開催しました。

委員会では最初に、議員の資質向上について話し合い、「住民に信頼される議員とは」などについて改めて確認をした上で、次回改選期の議員定数と報酬などについて審議しました。

また、他町村議会の現状や本村の地域性、昨今の状況を踏まえて、鶴居村との比較調査の実施と先進議会の調査を行いました。

先進議会として、十勝管内の浦幌町議会と中札内村議会を視察しています。

委員会では、各委員からさまざまな視点から発言がありました。そのほとんどは定

数、報酬については現状維持とする内容でした。

その結果、第4回委員会にて採決を行い、「鶴居村議会議員の議員報酬・期末手当及び費用弁償に関する条例第2条に規定の議員報酬について、および鶴居村議会の議員の定数を定める条例に規定する議員定数」については、現時点では改定せず、現行の通りとすることと決定しました。

議員定数 9人
議員報酬 月額 193,000円

一般質問のやり方が変わります

「一般質問」は、今まで「一問一答形式で質問回数3回までとされていたため、一回の質問で複数の質問をすることが多く、わかりにくい部分がありました。」

今後は「一問一答形式の時間制（持ち時間60分）にし、回数の制限を失くすことで、よりわかりやすく、議論が深まることとが期待できます。」

反問権が村長など答弁者に
与えられます

議会では今まで、村長ほか村の職員が、議員に対して質問することができませんでした。

しかし、議会が議論の広場であるためには、双方が質問できて当たり前であり、政策過程の説明責任を村長側に課したからには、反問権を与えなければ公平とはなりません。

そこで鶴居村議会では、村長などの答弁者が議長長の許可により、議員の質問に対して論点・争点を明確にするために、反問権を与えます。

反問されることにより、筋書きのない展開が生まれ、議員も質問事項を十分精査した上で政策論争に臨まなければなりません。



研修会

こんなことを勉強しました

サイクルツーリズム
釧路ならではの自転車観光を

くしろサイクルツーリズム
推進協議会事務局長

服部 政人 氏



鶴居村観光協会の事務局長でもある服部さんから、釧路エリアならではのサイクルツーリズムと、台湾などアジア圏に



期待されるサイクルツーリズム

に向けたサイクルツアー誘致の可能性などについて講演をいただきました。SNSによる情報発信として、フェイスブックやインスタグラムに風景動画の発信や、サイクルツーリズムが盛んな台湾やタイなどに向けてプロモーションを行うなど、積極的にサイクルツーリズムの拡大に努めています。

それって「セクハラ」「パワハラ」じゃないの？

釧路地方法務局
人権擁護課長

五十嵐 健治 氏



釧路地方法務局の五十嵐課長から、セクハラ、パワハラについての講演をいただきました。

セクハラとは、職務上の地位を利用して性的な関係を強要し、それを拒否した人に対し減給、降格などの不利益を負わせる行為、または、性的な関係は要求しないものの、職場内での性的な言

動により働く人たちが不快にさせ、職場環境を損なう行為を言います。

パワハラとは法令上、明確な定義はないが、一般的には「職場内での地位や権限を利用したいじめ」を指し、「職権などの優位にある権限を背景に、本来の業務範囲を超え、継続的に、相手の人格と尊厳を侵害する言動を行い、就労環境を悪化させる、あるいは雇用不安を与えること」などと言われることもあります。

常識や社会通念は変わるものであり、昔は大丈夫でも、今は通用しないこともあります。

議会運営の
課題と活性化

北海道町村議会議長会
事務局長

村川 寛海 氏



北海道町村議会議長会の村川事務局長から、町村議会のあり方や、議員報酬と定数の考え方、議員のなり手不足などについて講演をいただきました。

地方議会は、主体的な議会改革の取組みを積極的に展開していくことが重要です。

行政視察

島根県の いる地域に学ぶ

▶日本一の子育て村構想と A級グルメ構想

おおなんちよう
島根県 邑南町

A級グルメ

邑南町は人口約
1万800人ほどの
町です。

A級グルメとは、
邑南町で生産される
良質な農林産物を素
材とする「ここでし
か味わえない食や体
験」のことです。

食材を活かした料
理や食品の開発、そ
れを担う生産者や
シェフの育成など地
域産業の振興を図
り、「A級グルメの
まち」として発展を
目指しています。
特に地域おこし協
力隊制度を活用した
シェフの育成は、成
果を上げています。

日本一の子育て村

邑南町では、「地
域で子育て」をキー
ワードに事業を展開
しています。

子どもたちを安心
して産み育てられる
環境の整備や、子育
ての経済的負担を軽
減する具体策を「日
本一の子育て村構
想」と名付け、それ

らの実現により、住
み良い町づくりを目
指しています。

特に、邑南町の公
立病院には産婦人科
医と小児科医が常駐
しており、さらに病
児保育を行うなど、
安心して出産・子育
てできる体制が確立
しています。



邑南町のA級グルメをお土産に

▼移住・定住と子育て

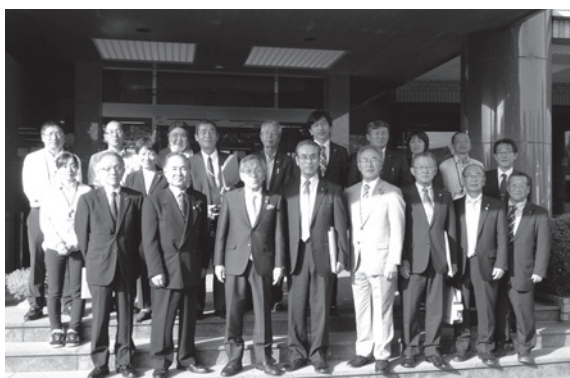
鳥取県日吉津村

ひえづそん

日吉津村は人口約
3500人ほどの鳥
取県唯一の村で、面
積は約4km²と日本で
4番目に小さな村で
すが、人口増加して
います。

村の中心には巨大
なイオンモールがあ
り、村外からたくさ
んの買い物客が訪れ
ています。

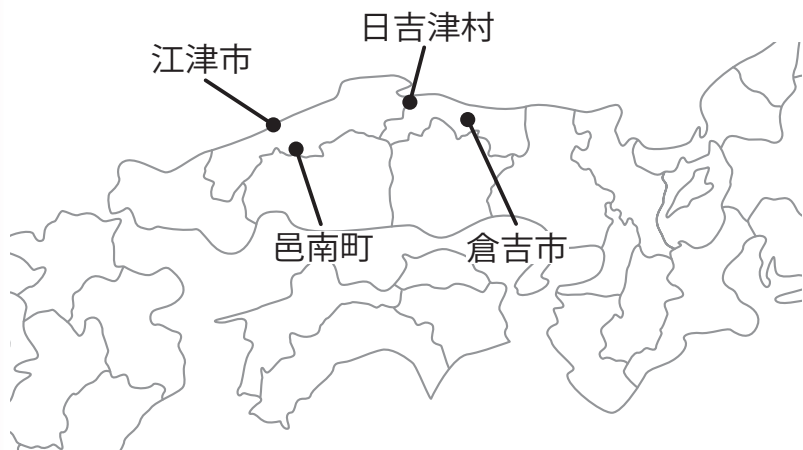
日吉津村では「子
育て世代包括支援セ
ンター」すまいるは
ぐ」を中心に、妊婦
や親子が安心して出
産、育児が出来るよ
う、妊娠期から就学
前まで切れ目のない
支援を行っています。



人口増でとても活気のある日吉津村



鳥取県って 取張って 鳥頑



▼企業誘致から人材誘致へ

鳥根県江津市ごうつし

仕事を創造できる人材を呼び込む

「ビジネスプランコンテスト」

江津市は人口約2万3700人ほどの市です。

「ビジネスプランコンテスト」を開催しています。

法人でござねっと石見が発足しています。

江津市では平成22年度から、「地域の課題を解決するビジネス」の起業を目指す人材を誘致する、「ビジネスプランコ

これを契機に、行政・商工会議所・金融機関などが連携して企業に向けたノウハウを学んでもらう「創業塾」や、起業家を側面支援する「NPO

このコンテストの受賞者が次々と起業し、農家レストランの経営、空き家再生のプロデュース、短期集中型のイベント企画、地元食事を使った商品開発など様々な事業に取り組んでいます。

人口減で沈滞感が漂う過疎地域の活性化には「外部の目」が必要で、30～40歳代の若手起業者は地域に確実に新風を送り込んでいます。

「仕事そのものを造る人材を誘致する」という試みは、新たな可能性を感じるとともに、他の地域へのモデルケースと言えます。



農家レストラン



クラフトビール工房

くらのよしし 鳥取県倉吉市

▶倉吉農業高等学校



資料館のタンチョウのはく製



倉吉農業高校の牛舎

昭和31年から鶴居村に酪農実習に來ている、鳥取県立倉吉農業高校を訪れました。
これまで受け入れしてきた実習生は延べ703人で、受け入れ農家は64戸となっています。



誰でも気軽に バレーボールを

読者の声

鶴居村バレーボール協会
会長 折笠 文則 さん



鶴居村バレーボール協会は1976年(昭和51年)に設立され、今年で42年になります。

私がバレーボールを始めた1990年代には男子6チーム、女子2チーム、ママさんチームがあり、毎月熱い戦いが繰り広げられていました。しかしその後、バレーボール人口が少なくなり、チーム数も減少し、現在では登録しているチームは男子が2チーム、女子が1チームと なっており、会員数は30名ほどになります。

主催する大会は鶴居村議会杯をはじめ村民大会、体育協会長杯など、

年7大会を開催していますが、人数、チーム数が少ないため、6名選手が揃わない時は選手の貸し借りや、女子チームが1チームしかないのが、男子チームに対戦相手にならなくてもいい、試合をやりくりしている状況です。

このような状況が続いていますので、10年ほど前から「競技としてのバレーボール」からレクリエーション的要素が高い「男女混合バレーボール」をはじめ、チームに所属してなくても誰でも気軽に試合に参加してもらい、バレーボールを楽しんでもらえるようにしていますので、興味のある方はバレーボール協会にお問合せ下さい。

練習は大会が年7回ありますので、主に前週水曜日午後8時からファミリースポーツセンターで行っています。年齢層は30代、60代、時々小学生や高校生まで

参加しながら幅広い年代の男女が集って練習、試合を行っています。

初心者の方、コートに立って汗を流してみませんか？

本村のバレーボール競技人口も少子化、高齢化社会、スポーツの多様化でこれからも減少傾向になり、バレーボール競技の低迷は避けられない状況だと思えますが、バレーボール協会ではバレーボールを生涯スポーツと位置付け、誰でも気軽にバレーボールに親しんでいただけるように環境を整えてまいりますので、今後とも村民のご参加、ご協力、ご理解をお願いいたします。



次回3月定例会は
3月12日開会予定
4月は議会議員選挙です

ご意見を議会へ

村政について意見や要望がある場合、どなたでも議会に「請願」や「陳情」として文書により提出することが出来ます。請願書・陳情書は随時受付ています。



間伐と間伐材の有効利用を促進して健全な森づくりに貢献します。

発行責任者

議長 松井宏志

広報広聴常任委員会

委員長 秋里広志
副委員長 松井洋和
委員 大津泰則
委員 松井広道



議長 松井宏志

新年明けましておめでとうございます。ご希望に満ちた新年をご家族お揃いで迎えられることを、謹んでお慶び申し上げます。村民の皆さんには、日頃から村議会に対し深いご理解を賜り厚くお礼申し上げます。